

## 平成26年度事業の課題について(第一回専門委員会での課題対応)

## 【H26事業場所の条件】

- ① H26年度までに耐震改修が終わっている
- ② H26年度までに屋上防水工事完了している
- ③ 屋根貸事業の対象でない
- ④ 建築基準法55条・56条(高さ制限)にあたらぬ
- ⑤ 避難所運営委員会が設立されている

四校が対象となった

## ◎ 平成26年度の導入場所候補(この中から2カ所を選定)

番号	施設名	防水工事 実施年度	検討内容
1	椿森中学校 校舎屋上	H23	H27年度に体育館の耐震や照明の改修を予定しており、配電接続はこの工事終了後となる。H26年中に工事を開始しても、電源の接続に至らない。
2	あやめ台小学校 校舎屋上	H24	校舎の配置は東西(南向き)になっており、パネルの配置には理想的である電気室の配置が体育館及び校舎とで離れているため設備配置方法の整理が必要
3	登戸小学校 校舎屋上	H25	校舎の配置は東西(南南西向き)になっており、パネルの配置には理想的である津波避難場所としての指定を受けているためパネルの設置場所に精査が必要(屋上面積約600平米に対してパネルの設置面積約100平米:10kW)
4	大宮中学校 校舎屋上	H25	校舎の位置関係が東西(南向き)でなく、パネルを載せるうえで、配置方法や想定発電量の精査が必要(工事費が高くなり費用対効果が下がる可能性高い)電気室や蓄電池の配置場所と体育館が離れており、工事費用が高くなる傾向にある

二校に絞り込み

## 【精査の内容】

椿森中学校・・・平成27年度中に設備の活用開始が難しい

大宮中学校・・・工事費用が高くなると想定される

上記の理由から、「登戸小学校」「あやめ台小学校」を選定していくこととなった。

なお、選定に当たっては、第一回専門委員会において課題が提示されたため、以下のとおり整理した。

課題の整理

## ≪ 第一回専門委員会における課題について ≫

課題① 校舎の建築時期が古いものなどあり、建替えることなく今後も使う施設であることが必要回答① 建築時期が古いものもあるが、候補については耐震補強済みであり、今後、建替える予定はない課題② 被害の可能性が高い登戸小学校や、延焼率が高い椿森中学校はやるべきでは回答② 今年度はモデル的な導入を観点として登戸小学校を進めるが、来年度以降も候補として精査したい